朝鮮日報

雜報

●大邱通信（二十八日 特派員發）

▲火賊蜂起に就て　南若翁附近に於て火賊蜂起のことは前便既報へ予報する所ありしが今秋風嶺駐在岡野巡査より警察への電報に據れば前便と多少の相違あれば改めて報ぜん即ち去る廿七日午後九時秋風嶺より二哩西北のカンボウ村と云ふ處に火賊二十名計り（前報四十名とせしは誤り）蜂起し我線路工夫詰所へ來襲したれば工夫小川國太郎（卅一歳）今井佐次郎（卅二歳）の兩人之を防禦し火賊一名を殪せり工夫の被害は懐中時計一個其他二三品にして別に負傷者なく彼等は目的を遂せず何處にか引揚げ去りたりと夫れに付き當地の横尾警部は本日午後の列車にて現場へ出張事實取調べの筈なれば遠からず詳報に接するを得べし

▲土地家屋の暴騰　近來當地に於ける本邦人の入來頻繁を加ふると共に土地家屋の代價益々騰貴の一方にて中にも此地は東北門外停車場附近に就て最も著しく坪五圓以上を唱へつゝ目今にては夫れにても買物に拂底を告げつゝある現狀にて家屋は西門の内外に於て邦人の需用者最も多く爲めに厨附近の家屋は日に増し高騰を呈せり然かも韓人は尚ほ將來の高價を見込みて一般に賣惜みの狀態にあて邦人は爭に家屋を買ひ占め儲けたるものは意外の奇利を占めしつゝありと云ふ

▲殖業債券の賣行　過般來より當第一銀行出張所に於て賣出したる日本勧業銀行第二號特殊債券の賣行きを聞くに去る廿七日迄にて殆んど五十枚を賣り盡し尚ほ不足の爲め釜山支所より本日拾枚計りの追加取寄せをなしたる模様なりと

▲金融ご商勢　當地商況は所謂正月商賣にて未だ活動を脱するに至らず各所も弗々取引あり尤も來月にも入らば陶器類菓子類酒類例年の例により漸次好況を呈すべく密柑と末物の殘品多少滯り居るのみにて明太魚も渋々しからず紡績、綿寸、石油は相變らずの賣行きにて別に異狀なし銀行預金甚後増加して廿七日の現在高三万八千圓爲替三万三千圓なりと近來市場に大紙幣の流通多く小賣紙幣缺乏を感じ居れりと

▲昨今の氣候と衛生　氣候と近か暖氣を覺へつゝある處昨廿日頃より天候一變し……假冷氣を感じ翌日にかけての降雪あり昨日に至り漸く當に復したるが目下當醫院の患者は呼吸器病、花柳病等を最も多き由にて天然痘患者一名あり

慶尚道事情に關する釜山領事館の調査（續）

一、東萊

東萊は釜山居留地を距る北方二里にあり古へは長山國或は來山國とも云へり現時は東萊郡守の居城とす北に山あり高さ五百尺餘は山頂より南下して平地に至る周圍二町餘周圍一里餘四方樓門を開き其外門を洗兵門と云ふ前川に架する橋を洗兵橋と稱す市街は城の内外に連續し商賈來往多く繁華の地たり學校二つあり一は朝鮮學校にして漢文及ろ漢文を教授し一は日語學校にして漢文及日本語學を教授す前者は生徒三十名後者は生徒五十名あり戸數は城內外を通じて千二百余戸人口四千八百人内外なりと云ふ東北約半里を距る所に溫泉あり……

……の地位たり

家庭

▲保姆を懇切にせよ

「學校は教育を完成する場所ではあらずして家庭こそ真正の教育を施す處である」とはロックの唱へし說にして少し辞論にのたれる嫌あるも一面の真理を含んでをる蓋し善良なる家庭は人生の花なり教育宗教道德……

……サアー下女は大立腹で白隱禪師の許に行き和尚さん何故私の悪口を御書きなされた私は衆人に對して面目ないと嚙みつた、所が禪師は下女の心得を說き又白木屋の主人をも呼で雇人も我子のやうに取扱をしてやれ然らば一家の幸福が生じてくると懇々教訓したと云ふ話がある、彼カーライルは云ふ人が万人の婢僕となるものでなければ百人の主とはなれない」と云ひし話があるが其通り使ふよりは使はれよ人を使へば我身を使わねば家庭の和樂は保ち得られないとうか此心掛を一般にもつてもらいたいものである（孤）

小品文

ひかし馴染　天　奴

思へば夢のやう幻のやう逝く水のやう……

新体和歌

初雪　髙陽家主人

たそかれの梢の花となりに鬼
けさめづらしき雪の積りて

初雪待人

初雪の積りにけりな孫更に
道ふみわけて友は來らず

山雪

うすか山木々の梢も花さきて
眺めあかぬ雪のはえみち

海邊雪

今朝よりは沖の島々影うせて
浪にたゞよふ鮮のみぞ見る

俳句

第十句（春季結）

講談　武勇の誉

讀者文藝　百字文

現錢　十七割三分五厘
手形　十七割壹分

朝鮮日報

言論

露國代議政体の標榜

昨日外電の報ずる所によれば露帝は遂に憲法の起草を重臣に報じたりと云ふ、果して事實ならんには、獨り露國一億五千萬の蒼生が塗炭の苦みを脱するのみならず、世界各國民も亦枕を高ふして平和に眠ることを得べく、恐くは何人も其事實ならんことを切望するなるべしと雖も、ペートル帝以來他國を侵畧するを以て國是となし、世界の統一者を以て自ら任ずる露國皇室及び其の官僚が中心より改悛して政体の變更を爲さんとするに至りしや否や難き能はず、露政府昨今乃窮狀は外より想像するよりも、より甚しく國内の人心は半ば狂亂の状態となり、恰も怒濤の打寄するが如く、千波万波、洶湧逆拜として滔天の勢を以て全露西亜を押據し最早尋常の手段を以てしては到底之を鎭服して沈静に歸せしむべからざるが故に、余儀なく代議政体を標榜して一時を瞞着せんとする穢なき魂膽より出でしにあらざるなり、故若し果して代議政体を採用するの意思あらば、憲法の起草を重臣に命ずるに先ち人民に對して先づ其專制政体を拋つの決心を示さゞるべからず、徒らに起草を云ふして時日を遷延せしむる中クロパトキンが萬一僥倖するか或は旅順に敗北して和を講ずるか何れにしても外患の一段落を告ぐるに至らば、起草の憲法は高閣に束ねられ壹億五千の生民は再び厭制の轭の下に呻吟せざるべからず、露國は遂に專制主義を脱するものにあらず、露國民たるもの此際尚一層の奮勵なかるべからず

地方電報

●李容翊着任（昨二日午後一時三十五分大邱發）
李容翊昨夜來任前觀察使郡守鎭衛隊停車場に迎へしも歡迎者多く雜踏を極めたり

●火賊蜂起す（同上）
秋風嶺地方火賊蜂起し所々かありて出沒す近來洞[illegible]地方を合せ其數百有餘形勢不穩なり

●一進會政談演説（同日午後六時四十四分發）
本日午後一時一進會は演説會を南門外に開く辯士六名聽衆數百名にして盛大なり

●門司特報（二十八日特派員發）

▲敵の○○線襲擊　營口より本日歸來せる某將校の談に曰く去二十日敵兵三千餘騎砲數門を率いたる一隊鳳凰城の南方に顯はれ其一部隊は海城附近の機橋を破壞し他の一部は電柱を倒し電線を切斷せしも我守備兵の爲めに擊ち擊攘されたり敵は始め我守備線の兵力薄弱なりしを彼が密偵の報告に接し襲ひきに牛莊附近の逆襲を爲したるが如く萬一の僥倖を待まん爲め我線を遮斷せんと企圖したるの形跡あり是れが爲め去二拾壹日は列車の運轉を中止したるが其翌日よりは復舊汽車の運轉を繼續しつゝありと云々

▲露探の増加　大連より本日歸來せし某氏の談に近來遼陽營口間の清人露探は頗る多く近頃營口方面にて捕へし者の自白に依れば敵が黑溝臺附近逆襲戰の情報を得たるも彼等の報告で大いに功を奏せるものなりとて敵は近來多額の賞賞を以て多數の露探を放ち居れる由なるがそれかあらぬか近比大連にて露探清人の斷罪に處せらるゝ者壹日平均五六人を下らず去拾五日には二拾人二拾日には拾壹人何れも西公園に於て銃刑に處せられたり

●京城通信（二十五日特置員發）

▲調査報告の請求　駐韓日本軍司令官大木安之助氏の通告に據れば我が軍事上に必要の事あれば郡内の驛站新島里家邸、田地及び官有地を調査の上報告されたしとしばしば請求するも個斷に報告するを得ざれば如何にすべきやと龜源郡守李鍾元より内部に問ひ合せたり

▲郡守交迭請求　巨濟島における軍事上架設したる通信機關は當該郡守[illegible]に之を保護するの責任あるに拘はらず不取締の結果電線を切斷せらるゝ事實有之候に付郡守を交迭せしむる事を馬山帝國領事より依頼し來れり故に速に決行して其の後任は日本視察通行員中の適任者を任用されなば彼我の交渉上便利少なからざるべしと林公使より内部に公文を送りたり

▲[illegible]者に對する内部の[illegible]　巨濟郡守[illegible]の[illegible]動の無責任にして軍事に妨害ある事を[illegible]職に堪へざる由依て之を奏免し其の後任には尹相佑を任し不日赴任せしむべしと云ふ

●官制改革の決定

▲議政府官制　昨日左の如く官制改革決定せり　議政、參政各一人、參政一人參書官二人秘書官一人、主事十四人とし贊政五人議務局長壹人錄事三人を減す

▲表勳院官制　總裁一人議政官十五人以内參書一人技師三人主事二人技手四人とし調査局長一人技手一人を減ず

▲中樞院官制　議長一人副議長二人贊議十五人勅任官二ケ年[illegible]より任命す參書官貳人主事四人とし議官二拾五人を減す

▲外部官制　大臣一人協辦一人局長二人（一交渉局長一等通商局長二等）參書官四人秘書官一人主事十九人とし參書官一人繙譯官二人繙譯官補五人を減じ秘書官一人及主事三人を増す

▲内部官制　大臣一人協辦一人局長三人（地方局長一等警務局長會計局長三等）參書官六人秘書官一人技師一人技手一人主事二十九人技手二人とし局長二人參書官二人視察官四人技師三人主事十一人技手二人を減じ秘書官一人を増す

▲内部廣濟院及種痘司官制　長一人醫師十二人製藥師二人書記二技手二人とし種痘司長一人技師一人製藥師二人主事三人委員十六人を減す

▲警務廳官制　警務使一人局長一人警務官十二人以内主事八人總巡三十四人以内技手壹人監獄署長壹人同主事二人看守長二人醫師一人とし醫師二人を増す

▲内部[illegible]開港場警務署官制　警務官を廢止し總巡二人宛を置く

▲度支部官制　大臣一人協辦一人局長四人（一等司稅局長司計局長印刷局長二等出納局長）參書官一人財務官七人秘書官二人主事五拾七人官師[illegible]技手十人とし局長三人參書官一人財務官七人官師二人主事[illegible]技手八人を減じ秘書官一人を増す

▲鎭衛隊[illegible]入京す　二拾六日[illegible]隊兵拾名は[illegible]丸四拾駄銃一駄其荷物拾一駄を率ゐて入京せり

▲師洞李容翊宅を警戒す　師洞大邱觀察使李容翊宅を一進會員警戒して人の出入を取調ぶ

▲郡守辦事　大邱金漢鼎、淸風李秉化、谷城金敎憲、[illegible]、陽川[illegible]、[illegible]安中植、[illegible]、成昌金光[illegible]、昌平張復生、知禮金[illegible]、丹城金秉吉、昌原朴萬[illegible]、[illegible]江西李字[illegible]、[illegible]、萊元有常、[illegible]海李亭[illegible]、昌原閔丙吉、[illegible]朴[illegible]、仁[illegible]徐相奎、平昌[illegible]、[illegible]川李明來、原州金[illegible]奎、高城閔[illegible]、[illegible]川朴承[illegible]、鐵山張允[illegible]、[illegible]金光千、世[illegible]、安城李鍾[illegible]、右は内部より奏本したるもの也

▲學部より外部に照會す　學部所管の中學校敎師[illegible]祖氏は學部參與官に轉任したるに付ては其の代任には高橋亨を雇聘せられ依つて選署されたし其の俸給は百五拾圓の外に舍宅料毎月廿圓を支給する事云々と外部に照會す

▲郡守奏本に付て　廿六日の郡守奏本は各府部大臣より一々選付したるものなるが其の余は李根澤趙秉式兩人が指名任命したるものなりと云ふ

▲内部再び郡守を奏本せんとす　廿七日内部に於ては再び郡守奏本を擧行すと云ふ

▲林公使内部大臣に照會す　濟州嶋は日韓船舶の輻輳する處又我が軍事行動上重要地點なるが現在牧使洪鍾宇は不適任の人物にして本邦人の感情を害する事甚だし依て適任者を選んで之に代はらしめられたし尚新任牧使赴任前に於て本公使面談する必要あれば本公使館に來訪せん事を請ふ

●居留民團法通過　既記の如く韓國居留民團法案に關しては兼ねて衆議院にて可決の上貴族院に廻付し置きし處なるが去る廿五日該法案を議し滿場一致にて可決せり之にて兩院を通過せるにより不日裁可を得て發布せらるゝ筈なりと

●京城における日本物産博覽會　今回大阪商業會議所發起となり本邦製品を直接韓國に紹介し同時に韓國の情況を視察し以て販路の擴張を圖るの趣旨にて來る四月一日より六月三十日迄の三ヶ月間京城に於て日本物産博覽會を開設すべしとの決議をなしたるが右に關し大阪府知事より我國の農商務省に對し彼地に於て相當なる家屋の有無及び其料金等の調査方を照會したるを以て同省商務課よりは發起人及び理事者の氏名並に費用及び其他に付き更に同府知事に向け照會する所ありたりと聞く而して右發起者は獨り京城のみならず引いては北濟地方にも商品陳列館を設置するの企畫なりと

●閔侍從長來釜の說　侍從武官長閔泳煥氏は軍事視察として戰地視察の途次京仁を經過して兩三日中當釜山に來着せらるべしといふ

●京釜鐵道の工事進涉

▲京釜鐵道本工事　增若隧道の通貫したるを始めとし他の未貫通隧道も昨年悉く貫通し四月中旬迄は全線の隧道皆列車を通ずるに至るべく琴湖江洛東江の橋梁本工事は氣候酷烈の爲め着手稍後れたるも兩三日前に至り漸く方共本工事に着手したり又ウエルの沈設其他の基礎工事に三箇月を要するも工事は割合に日數を要せざれば來る七月中には是亦列車を通ずるに至るべしと

▲倭舘隧道　倭舘隧道は洛東江を挾み開岸に施工事を成しつゝありし兩端の隧道は既に貫通し余す所は僅余なるが兩岸隧道は既に開通を終り目下切廣め最中にて兩岸は來月仲旬迄に其開通を見るべしと

▲客車及び貨車演關の組立　先日英國汽船インドラープラ號にて釜山へ搭載し來りし京釜鐵道の客車六十輛汽關車九臺は目下組立中にして直行用の食堂付列車も同船にて到着し居れば來月仲旬頃より組立に着手する筈なりと云ふ

●商業會議所豫算　過日の通常會に於て決議せる明治卅八年度商業會議所豫算額は左の通りなり

一金七千二百十壹圓也　經常支出額
一金五百貳拾圓也　借入金
計金七千七百參拾壹圓也

内譯		前年より増減
諸税	三、一二〇、〇〇〇	増二三八、〇〇〇
徵收費	二〇四、〇〇〇	増一一四、〇〇〇
宿直料	三六、五〇〇	増減なし
旅費	三〇〇、〇〇〇	同上
公告費	一五、〇〇〇	同上
印刷費	二〇〇、〇〇〇	同上
通信費	六〇、〇〇〇	同上
備品費	八〇、〇〇〇	同上
圖書	三〇、〇〇〇	同上
消耗費	一八〇、〇〇〇	同上
修繕費	五〇、〇〇〇	同上
會議費	一〇〇、〇〇〇	同上
電話水道費	九六、〇〇〇	同上
接待費	三〇〇、〇〇〇	同上
課金	二四五、一〇〇	減一〇〇、〇〇〇
保險料	一五六、〇〇〇	増減なき
聯合會費	一〇〇、〇〇〇	減六八、三五〇
雜費	一五〇、〇〇〇	減一〇〇、〇〇〇
賞與費	二六二、〇〇〇	増二〇〇、〇〇〇
陳列所補助	七八二、五〇〇	
借入金償却	五二〇、〇〇〇	
割利手	一五〇、〇〇〇	
豫備費	五九四、八〇〇	増四九四、九〇〇

附記前年より增加二千六十七圓卅錢

收入之部
一金七千四百圓也　課金
一金二百四十圓也　會議所貸地料
一金九十圓也　商議七番地貸地料
計七千七百三十一圓也
前年より繰越高二千六十九圓四十錢　會議所貸料別途積立
外に金七百圓也

●陳列館の經常費　本年度の同所經常費は左の如し
一金千六百十八圓五十錢　支出總計

内譯

通信費	六〇、〇〇〇	印刷費	五〇、〇〇〇
電燈費	八〇、〇〇〇	修繕費	二〇〇、〇〇〇
雇日給	五二五、〇〇〇	備品費	五〇、〇〇〇
消耗費	六〇、〇〇〇	賞與費	七〇、〇〇〇
雜費	六〇、〇〇〇	豫備費	五〇、〇〇〇

收入之部
一金五百圓　商業會議所補助
一金七百八十二圓五十錢　商業會議所補助金
一金九十六圓　商品手數料
一金二百四十圓　商店貸料

●本日の役員會　陳列館出品物の件に關して本日午前拾時より商業會議所役員會を物品陳列場内に於て開會の筈なり

●草梁分校の受授　草梁分校は設備全く整ふたるにより今回京釜鐵道會社より當港居留地に引渡す事となり本日石原民長には高橋校長と共に草梁に出張せられたり

●京釜鐵道と小資本家　京釜鐵道に依つて事を成さんとするもの或は該社と特約して營利界に奔らんとする人の多くは小資本家なるが會社が今後の事を慮り競爭により起るべき惡弊を豫防せんが爲め前金納等に依りて初めて許可するを以て一般小資本家は非常の打擊を受け殊に運送者の如き甚しき悲境に立ちしもの多しといふ

●藤田遞信書記官の出張　韓國に於ける交通事務視察のため通信出張を命せられたる遞信書記官藤田虎力氏は此程東京を出發來韓の途に就きたりと

●中井京城民長　京城居留民長中井氏は歸途當釜山港に立寄り大池に投宿せり

●凄寒を脱す　五六日の釜山は凄寒限りなく何れも不景氣を口癖の如く叫び居りしが一昨日頃より北韓一帶凄寒を脱する模樣なりしが昨日は各町早くも人出多く景氣漸く回復せん模樣あり

●淺海女醫　昨日京城より歸釜

●所謂買物帳に對する輿論　當港購得の新發明に係る買物帳は釜山商業會議所に依りて屡々嚴重なる制裁を下せしも其効なく今に至りては商家の輿論何れも是れが到底抵抗く繼續するべき習慣にあらざれば斷然今回に於て廢止の上此惡弊を一掃すべしとの議論に一致するもの〻如くなれば所謂買物帳が秋の風に扇的末路を見るは明かの事なるべしと某氏の談

●加德島に於ける　加德島に何等かの工事ありて昨今同島に赴く人夫勞働者頗る多く本邦よりは勿論一船毎に必らず十數人の人夫を加へ來る模樣なり

▲商品紹介▼（一）

臺灣鹽と韓國

韓國臺鹽販賣合資會社の近況

臺灣の食鹽を韓國に輸入するの利益である事が世に知られてから其特約一手輸入を企てた人は頗る多かつたが今日では韓國臺鹽販賣合資會社と云ふ頗る長い名の會社が出來て盛んに臺灣鹽の韓國輸入を開始した。

韓國臺鹽販賣合資會社なるもの、成立に就て少しく述べやう。先ず此商機を看破して我政府に特許を出願したのは白田喜一郎氏であつて夫から續々出願したのは第二に横濱の尾崎房太郎氏、第三に東京の西野寛司氏等であつた。尤も釜山の紳商連も大分此事には騷ぎ出して大池忠助氏なども昨年の議會開會中に上京して當時の專賣局長祝辰巳氏に就いて種々運動する處があつたさうな、所で專賣局長も是は必ず出願の順序計りで以て特許をする譯に行かぬ事情があるからと云ふので其當事者間に妥協をさせた結果として前記の白田喜一郎、尾崎房太郎、西野寛司三氏の外釜洲豐瑞の田中安之助氏、釜山の木本荻野の兩店主都合六名の合資會社として昨年九月十七日に特許さるゝ事になつた。

サテ、此特許が該社に下ると仝時に該社は専賣公價五千圓を臺灣總督府に提供して保證金とし直ちに釜山港内の牧の島に四千坪の倉庫を建設して試賣に着手する事となつた。

臺灣鹽を韓國に試賣す

韓國臺鹽販賣合資會社が試賣を遣つたのは最初に金泉の市場であつたが、鹽に一寸謝つて置かねばならぬのは臺鹽は純粹なる鹽であるけれども一見すると粒が大きい其爲に韓人は之を買はなかつたから之を春にて碎いてから賣つた處が非常に歡迎されて直ちに品切れとなつた、次の市日にはもう臺灣鹽の名が通つてゐたから瞬く間に五十俵を二時間の内に賣つて了つた。此試賣の結果は該社の方針に一大奮發を與へた。金泉の市場に於て試驗したる好結果は何處に於ても同樣に繰返へされるのであつて豫期したる該社の事業は茲に大に發展すべき運命を示すのであつた。今現に金泉の市場から直接に二百俵の注文を受けたので該社は之を京釜鐵道便にて發送したとの事。

臺灣鹽か韓人に歡迎さるゝ理由及將來臺灣鹽か韓國に對して如何なる輸入額を示すであらうか。臺灣鹽の產地に於ける現狀かとうであるかは次號にて說明するであらう。

明治卅八年壹月十四日 第三種郵便物認可

朝鮮日報

半日の滊車旅行（其の二）

保丈夫 淑夫人（芳山ど斗南）

…ヤヽ〳〵、立てばなか〳〵長い若二時間待合室の人品評、芳山兄ぴたり待つは銘酒、來るり、紳士、高帽、白衣に煙管、髭、のつぺり、無髯、りぼん夜會、肩掛、獅子鼻、突り出齒、跛、蒙古裁男、醜女、殊に事務員は駄尾獸すべて合計六十九人ホツト合點どなくも齋、ガラ〳〵來るのは入力車夫、車上より降るは旦那様の美しき妻、典雅の容、色よいゝ、コートは夫人なるべし、駝巾蜆家にすかた、すらり、思へやらる、花の容顏惜い哉巾め駒を取れよと思へば同上芳山と顔見合せて互ニツコリ、しめた妻は奪れたるオサオサ〳〵月も盜み〳〵黑をなあ、是か旦那のオヤオヤオヤ

似合ましたる若夫婦と言はすぐに殿主のゆ

列車に乘るやサ〳〵と、自分と豊子は並んで掛る芳山兄は獨占の横着、ピレと笛ソロ〳〵と軋る、オヤ莊にも美人腰掛を得ずして毛布片手年は二八か二九からぬ盜らるゝ艶麗々どして艶、芳山兄見るより俄かにアヽ、タヽタ「あなたヽ茲へ御掛なさい」席を讓りて紳士に龍顔豊子はニコリ自分はクスリ美人は强と顏を紅くして「ハアー」と梯郷〳〵やがて「ご免あそばせ」フワリと座る似合ましたヨ若夫婦自分は口の中にて呟くを早く聞咎め「ナニ馬鹿な」睨めつけて後は惡まれ口「君と豊子は黑臓上に白百合か

太き竹とは異に適切

美人愁を含む何の憐

車窓に凭りて外を見る白雨蕭條として寒村うたた寥々、離落として幹家何ぞ悲秋なる暮煙低う迷ふて遠くひらさきに山痩せ人痩せ家痩せて鬱々脊々委蛇として流る際々の小川草木花顔えずして荒凉の野色、枯木風情なき晩獨何の詩趣か自分は恍然としてしばし夢境、豊子は急に指して「アレ太き竹よ」自分は驚きさきて指す方を見ればなんのあと雖松雨を帶びて綠新に幹長うして痩せて竹に似たるを自分はニコリとして芳山を顧る彼亦完爾として我を向ふ豊子は個中の意を知らず美人獨り愁を含むは這景多少の感慨ありや

芳山昔を憶ふて美雄の勝へ人肩を揚けて朱唇白し

甘商を過ぎて野色に潤け水田遠く連りて雲烟模糊淡さとして其ゝ書中、白衣の人黑傘を翳して風雨を驅ふ何ぞ詩的、昨夜山僥けて今朝雪降る、溪間の斑白は是、是亦す時間の景、山を遶ぐ…

落東江の流れは目に入る一群の鴨は碧に浮ぶ頭に弄ばれ…流れ芳山兄を驚して…

自分は驚いて目を瞑る美人もグヽとりとして…を仰ぎ、芳、得意に語をつゞく「昔し文祿の役加藤清正は此地に攻入り左は津…往々の落東江右は…れば飛ぶを得ず、渡しなければ…流石千古の鬼將…

逃しかれ薬商の豊子をして…芳山當年の英雄を回想して…色、…として…を揚けて色動けば豊子…ろま自分は遽乎として窓外を仰ぐ、いゝ、いゝ、に注いで實にや…の聲として高き

●慈善演藝會概況　一昨夜の演藝會は非常の盛况にて午後六時には結切となり夫れにも拘らず群系の人々は入場せんとして一時は中り〳〵の混雜ありき

●巡査と兵隊　一昨夜の演藝會謝員締切後十一隊の兵士十四五名は入場せんとして紛擾巡査に向ひ費用云々の語より互に言募りアハヤ一場の大爭鬪を生せんとせる折除長らしき人來りて之を鎮撫し先づは事なきを得たりき

●相撲と前狀　五日より愈々興行すべき相撲連は昨日各所に挨拶を爲しなぞ準備に忙はしく各打又相撲の前時とり〳〵にして何れも盛大なる景氣を觀るなどならんと想はる

●一ご口淨瑠璃　慈善音樂演藝會の段　竹本錦太夫

…の舞踏場と卑下すれとも…

川柳雜集　年田口

●狂歌

●大商店訪問記（九）

山川洋服店（辨天町）

田中酒店（南濱町）

淺海吳服小間物店（辨天町）

山田貿易店（本町）

中村雜貨店（辨天町）

（怨）片想　佐須士の金太

（鬪）瞭…の勤

…子　…太　…子　繁子

釜山商況（三月二日）

魚市場	八百四十圓六十八錢	
揚高	十ヶ目	廿三圓
ゐ	同	十五圓
た		十四圓
め		十二圓

米穀類を始め雜貨共商況凡て閑散なり木綿織物は少し節迫…たる取引少…

廣告

血を増し肉を肥し質を強にする
強壯的飮料は本品に如くものなし

蜂印葡萄酒

韓國一手輸入元 釜山幸町一丁目 合 齊藤商店（電話番號一四四）

今三日（金曜日）午後六時開催
大坂博愛社 慈善音樂演藝會 會場 幸座
內外淑女紳士出演

民製 宮烟（兩切口付）一切
卷煙草類各種 並ニ宇治銘茶
御小賣大勉强
煙草問屋 便利御仕入所 內山商店（電話二五六番）

調劑所
處方調製ノ依賴ニ應ス
釜山本町 弓削靈藥館

獨逸直輸入 純良アルコール
特約一手販賣 釜山南濱町 大黑藥店
全 西町三丁目 上廣田商店

朝鮮料理 附 支那料理
Restaurant
釜山幸町一丁目 小倉庵 電話一五一

解雇廣告 坂本庄市
右之者都合ニ付自今解雇候ニ付本店ニ關係無之此段廣告候也
西町三丁目 上西酒店

京都産大物類其他野菜類 御入用の節は御高需に應ずべく候
●京都産改良茲 改良茲の特色 …

慈

松崎吳服店

●有價證券賣買
●電話讓渡讓受委托に應ず
●電話至急受讓タシ
御不用ノ方ハ御報知願上候
右確實を旨とし取扱可申候間御用向仰付被下度候
公なる周旋業 幸町三丁目 津田光藏 電話二五七番

陶漆器 シナカパン
其他新古日用家具
右御小賣廉價販賣
●御不用品何でも買ます
●諸品競賣委托に應ず
古物業 雜貨商 幸町三丁目 油谷商店 電話二五七番

齒科專門

幸町南濱通上田商店前和田野醫院ヨリ東五軒目 共生醫院

東京 淸印 勢印 草印
醬油
右入荷候間御用仰付ラレ度願奉候
辨天町 上杉乾物店

靜海印醬油 韓國一手販賣特許店 酒類醬油罐詰卸小賣 本町海關波止場前 林田信藏 電話百六十七番

●靜海印 ●靜海印
弊店開業以來日猶淺キニ不拘…
誠實信義…不言實行…

灘名酒



大樽四斗四升六合入

緊急廣告

歐米雜貨卸小賣

釜山幸町一丁目
●文明 ●日之出
●朝日 ●大和
●名煙 印
●椿印
合きざみ印刻煙草
官煙輸入元
齋藤支店

東京日々新聞◎報知新聞◎大阪新報
朝鮮唯一の大新聞 朝鮮日報 一ヶ月ノ發送… 發行所
廣告印刷大勉强致ス
大取次 方面一手特約販賣所
雜貨商 朝日商會

責任醬油發賣廣告

責任醬油ハ本國自家醸造ノ特有品ナリ

責任醬油ハ寒冷ノ候ハ無論夏氣ノ候ニ至リ變味腐敗ハ素ヨリ浮カビ等ノ患更ニ無キカ特色ナリ

責任醬油ハ比較的安價ナルハ色ニ於テモ味ニ於テモ御試ミノ上陸續御注文伏シテ希上候

責任醬油ハ特製濃色及ヒ淡厚色共各種アリ

責任醬油ハ日々御得意様方御伺可仕候ニ付其際御用命賜リ度候

責任醬油御買一手特約等ハ御來談被下候得者御相談可仕候

並ニ酢 備後疊表同新疊 戶障子類安價販賣

廣島縣深安郡福山町 釀造元 ⌃一備福商會本店

韓國釜山入江町拾七番地 大池旅館裏 發賣元 ⌃一備福商會支店

備後鞆町中村吉兵衞釀造 本邦固有滋養品 鞆津名産
一十六味地黃保命酒
一味淋酒
一燒酎
一白煉酒
備後特産織 一正絹保證本綿縞
並ニ梅干漬大根漬
右御小賣共大勉强販賣仕候間多少不拘御用命被仰付度且御進物用ニハ至極高尙優美ノ品ニ付續々御買求ノ程奉希上候
韓國釜山入江町十七番地 大池旅館裏 增永支店

廣告

日本郵船會社 汽船釜山出帆廣告

● 日東丸 仁川群山木浦芝罘大沽牛莊行 三月十一日
● ヲハヨー號 門司神戸大阪行 三月六日

荷客取扱所 大池回漕店

同 回漕店

大阪商船會社 汽船釜山出帆廣告

● 木浦丸 木浦仁川鎮南浦行 同 三月三日 一月廿八日
● 漢城號 三月五日 一月三十日
● バイキング號 仁川行 三月二日 二月廿七日
● 義州丸 馬山浦木浦群山行 三月五日 一月三十日
● 蒼龍丸 馬關神戸大阪行 三月三日 一月廿八日
● 安東丸 三月四日 一月廿九日
● バイキング號 三月七日 二月二日
● 木浦丸 三月十三日
● 手取川丸 嚴原長崎博多下關神戸大阪行 隔 三月八日 午前六時出帆
● 義州丸 嚴原下關神戸大阪行 三月十一日 六日
● 蒼龍丸 元山行 全 三月十日 全 二月五日
● 瑞鷹丸 沿岸線 仁川群山間每週三回往復

大阪商船株式會社

瀛船釜山出帆廣告

● 防長丸 元山行 三月六日
● 浦門丸 元山行 三月五日

荷客取扱店 二木回漕店 電話八三番

同瀛岸出張店 電話一七二番

堀商會 瀛船釜山出帆廣告

● 京畿丸 定期檢查中
● 慶尚號 木浦仁川行 全 月 日
● 慶寶丸 月 日
● 泰盛号 元山行 陽 三月五日
● 正成丸 陰 正月三十日 仁川群山間就海中

堀商會汽船部 本町海岸郵便局前 山川回漕店 電話一七八番

池田汽船 仁川行

● 松前丸 陽 三月七日 陰 二月二日
● 幸光丸 元山行 全 三月三日 全 正月廿八日
● 寧靜丸 野村汽船群山仁川行 全 二月 全 正月 日
● 貫効丸 陽 二月 日 陰 一月 日

釜山港 荷客元扱 本町通海岸郵便局前 山川回漕店 電話一七八番

大川運輸株式會社 瀛船釜山出帆廣告

● 若津丸 定期連絡汽船 嚴原唐津行（九州鐵道ニ連絡ス） 三月 日 午後 時

荷客取扱店 中上回漕店方 國中商店

八頭司瀛船 釜山出帆廣告

● 萬歳丸 三月 日
● 山陽丸 但シ午后二時出帆 荷物ハ切午前十時 三月三日 馬山浦行
● 馬山浦丸 仁川行 二月 日

八頭司船舶部

大阪尼崎 瀛船釜山出帆廣告

● 神代丸 下關神戸大阪行 陽 三月六日 陰 月 日
● 崇敬丸 第二 馬關神戸大阪行 全 三月四日 全 月 日
● 大有丸 仁川行 全 三月五日 全 月 日

荷客取扱店 大池回漕店

瀛船釜山出帆廣告

● 永田丸 第八 鎮昌洋行瀛船 門司神戸大阪行 陽 月 日 陰 月 日
● ダクマル號 仁川群山行 二月 日
● スルベルグ號 門司神戸横濱行 二月 日
● ビマリフク號 仁川・群山 二月 日
● 共同丸 第四 釜山運輸組瀛船 三月四日 元山行

沖永回漕店（電話貳百貳拾七番）

● 共同丸 第四 三月四日 元山行
● 永田丸 第五 月 日

釜山運輸組（電話百二十七番）

濟州 世昌洋行汽船出帆廣告

● ダクマル 門司神戸大阪行 三月 日 午後五時出帆
● スルベルク 仁川群山行 三月 日 午後五時出帆

世昌洋行汽船元取扱店 ㊀ 齋藤回漕部

廣告

御旅館並ニ御料理

附屬牛乳搾取販賣所豐後鐵泉 日本館建築十八棟國六四季ノ花絕ヘズ 大邱東門外停車場前 達城館

會席御料理 仕出し 春日 西町三丁目（電一三三）

謹告

拙者儀て株、龜具、屛風、额面、掛軸、金銀箔置、表装營業致居候處各位の御愛顧により日に增し盛業に赴き候段希感謝候然るに目下の時局に鑑み諸費を扣除し残額は擧て之を陸海軍恤兵部に献納致以て聊か報國義務を盡さんとす希くは各位生主の微衷を御洞察被成下多少に不拘御用命被仰付度候也

西町二丁目陳列館正面通り 福村松旭堂

特別大安賣

ホヤ

此の外諸雜貨

本町三丁三 石川勝治商店

韓錢證票交換

韓錢證票交換の事は既に廣告する處ありしも猶ほ遺漏なき樣致度爰に延期して本年三月卅一日迄交換を行ひ候間右期日迄に御交換の御申出有之度此段廣告候也

明治三十八年一月 京釜鐵道會社 特約代理店

三月卅一日 稲田酒場 本町三丁目

稲田增兵衛

㊂印 醬油

鳳・凰・龍・軍・

釜山北濱通 水野巖商店

醸造元 紀州湯淺 濱田儀兵衛

最上醬油元祖

宮内省御用達 第六號 師團指令

聖路易萬國大博覽會 名譽金牌受領

注意

韓國特約販賣元 釜山西町三丁目 廣田酒店

大樽入、一斗入、四合瓶詰アリ 近來類似ノ商標ヲ附セル粗惡品ヲ販賣スルモノアリ御買求ノ節ハ封印ニ御注意アリ度

土地測量並製圖ノ依頼ニ應ス

朝鮮日報社内 杉山喜一

新荷到着と業務擴張

和歌山特産 コールテン、シャツ類、モンパシャツ 西町 なんめい通 十字屋本店

美濃燒、尾州燒、伊萬里燒、陶器類 西町 なんめい通 十字屋第一支店

名古屋小間物、出雲燒、陶器、漆器、一閑張 釜山陳列館 附屬賣品館 十字屋第二支店

襖建具類一切 西町 なんめい通 十字屋第三支店

右新荷到着候ニ付卸小賣共大割引販賣

京城泥峴一號地ニ滯在シテ契約起案民刑訴訟等汎ク法律事務ヲ取扱フ

東京辯護士會 辯護士 皆川廣濟

商標

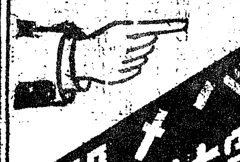
健胃強壯 胃藥

가심아리、가심제린증、음식니리지안는증의보약이요

本主治胃腸病根治的之新藥 胃劑健全身躰快活非凡良劑

製劑發賣局 滿韓賣藥商會

東京 大慈本店



印 メッバ 香竄葡萄酒

賣捌店 草梁大慈支店

釜山北濱 聚谷出張店

釜山本町 秋野店

仁川 土井



샹등지권연초

히이로

上等紙巻煙草

ヒーロー

支那料理 東京そば 東庵

萬金物問屋

本店大阪南波新川三丁目 支店韓國釜山北濱七丁目

大工道具・信州鎌・諸金物類・打刄物 登録商標 ㊂

全國及支那沿海州地方ヘ仕入販賣致シ候 御注文ハ本店ヘ大阪難波郵便局 支店ヘ釜山海岸郵便局

㊂ 下村商店

勉强御下宿 南濱一十八番地海岸通 伊豫屋

精白米廉價販賣 石炭米共取次 俵賣仕候 南濱町海岸通四ツ角 西原商店

唐津石炭 ガス炭入 辨天町一丁目 國安商店 電話一七二

丁寧親切 南濱地六番町 柳井旅館

株式會社 第一銀行支店（電話十一番）

一資本金 壹千萬圓
一積立金 百七十万圓

明治六年設立

本店 東京 頭取 澁澤榮一

支店出張所 京城 仁川 大阪 神戸 名古屋 横濱 京都 大阪 群山 木浦 鎮南浦 開城 平壤 ...

爲替取組先 長崎 門司 下關 熊本 博多 柳井 佐賀 岩國 廣島 嚴原 ... 大阪 三田尻 久留米 上海 香港 牛莊 ...

諸預り金爲替貸金其他銀行一般業務多小ニ不拘御便利御取扱可申候

活版印刷 迅速廉價 鮮明 釜山西町三丁目郵便局裏 立志社

朝鮮語文活字あり

陸軍御用 釜山罐詰所共製品 滋養牛肉ソップ販賣 南濱二十八番海岸通 平田秀吉

一合代貳錢 先日の廣告中二合代貳錢は一合代貳錢の誤

材木建具廉價販賣 富平町精米所側 平松商店

磨擦米廉價販賣 富平町 岡本商店（電話三拾一番）

寫眞撮影 釜山全景各數通其他寫眞韓人風俗 長手通辨天町 平井寫眞館

板材木廉價販賣 其他石灰釘瓦 南濱海岸 島末商店

青物乾物 砂糖麥粉 西町一丁目 遠藤商店 電話架設中

● 巻煙草 ● 刻煙草
● 銘茶 宇治錦城園製 ● 各種石鹼
● 齒磨類 ● 麻裏草履

右卸小賣共大勉强 南濱小倉庵前 ㊋ 宇田商店

株式會社 第五十八銀行 釜山支店（電話五十八番）

爲替取組先（一般の銀行業務は總て御便利取扱可申候）

東京 大阪 京都 横濱 名古屋 伏木 敦賀 富山 米子 尾ノ道 兵庫 神戸 姫路 網干 宇和島 柳井 岩國 庭瀬 萩 下ノ關 廣島 倉敷 門司 福岡 伊萬里 長崎 博多 唐津 京城 阿知須 防府 仁川 小郡

大坂每日新聞 一ヶ月特別大割引 一ヶ月代四拾八錢

萬朝報 一ヶ月代 三拾錢

幸町一丁目長手通 山口新聞舖

獸醫 富平町拾七番地 中尾稲作 電話四拾四番

寫眞 南濱通 日朝寫眞館

● 山西足袋發賣元
● 保險麻裏大販賣
● 小間物化粧品類

其他雜貨日用品薄利廉賣 釜山西町三丁目

諸品御問屋 ㊀ 明治屋

純良牛乳 迅速 便利 配達 富平町二拾四番地 稲尾牛乳店

家屋は新築清潔 眺望は風光明媚 勉強旅館 取扱は親切丁寧に

京釜鐵道沿線 三浪津河岸 龜屋

● 釜山天氣豫報 北又西の風 （二十一月）

● 韓錢相場